

第12回 日本健康・スポーツ教育学会 学術大会 プログラム 令和8年3月8日(日)

統一テーマ「健康・スポーツ・教育の連携による幼少年期からの生きがい創り」

メインテーマ「Well-being 向上教育の推進」

時刻	メイン会場				サブ会場
	記念館1階・2階 A会場(2階 講堂) Well-being 領域	3号館2階 B会場(2-1教室) 教育・健康療育	3号館2階 C会場(2-2教室) 体育・スポーツ領域	記念館1階 D会場(小体育館) 幼体の参加者中心	3号館2階 座長・演者打合せ室 (選択4教室)
9:00 ~ 10:00 準備					本館2階 特別控室 (特別会議室)
10:00~ 10:45	受付(記念館1階 エントランス)	※クローカは、ロビー・教室等が広い為、場所を決めずに各自で持ち歩く			記念館1階 食堂
10:45~ 11:20	理事長挨拶 柴岡 三千夫 理事長 大会長講演 「Well-being 向上教育の推進～前向きな年齢の重ね方に視点を当てて～」 柴岡 信一郎 大会長 座長 大津 一義				
11:20~ 12:10	「Well-being 向上～新たな労働観にいかに向き合うか～」 講演者 平山弘(阪南大学学長) 座長 柴岡信一郎				
12:10~ 13:15	昼食				
13:15~ 13:55	ワークショップ1 2025デフリンピックが学生のウェルビーイングにもたらす影響 ○角田 弘子	ワークショップ2 リスクリミングの意義と効用 更なる well-being を目指して 一保育士・放課後児童支援員 資格取得を中心に行 ○平山 実	ワークショップ3 身体活動を取り入れた Life Skills 形成のための学習指導 過程の開発 ○山田 浩平	幼児の運動あそびを通した 生きる力の育成～心の健康創りを中心として ○山口智之 ※小体育館で昼休みを通して実施	
休憩5分					
14:00~ 14:40	ワークショップ4	一般口頭発表 座長:橋本純一、尹 東燦 留学生に対するICTを活用した学習指導のあり方 ○岩田忠彦	一般口頭発表 座長:武井克時、温井 一裕 東京都中学生の陸上競技の記録の変遷に関する研究 ○温井 一裕		
14:00~ 14:20	Well-being向上教育の実証的実践 —スポーツ先端科学に基づくAIを活用した非認知能力の可視化— ○山羽 教文	祖徳学と朱子学の相克—庄内藩水野元朗と加藤大式の書状から ○瀬尾 邦雄	スポーツ教育による社会的老朽化の予防と基本姿勢の再構築 ○安藤 秀樹		
休憩5分					
14:45~ 15:25	ワークショップ5 基本的自尊感情における共有体験の意義を考える—ICT活用の可能性と身体性を視野に— ○近藤 韶	一般口頭発表 座長:横山典子、江口秀幸 老子の哲学思想 ○尹 東燦	一般口頭発表 座長:菌部正人、堀松英紀 高齢者の継続的体力変化について—茨城県利根町「きちんとれ会」参加者の体力測定結果から— ○菌部 正人		
14:45~ 15:05		冷戦研究の現代的意味について—Well-being の視点からの考察— ○大久保 成道	総合型地域スポーツクラブの現状と課題(第二報)—東京都羽村市“はむすぼ”を事例として— ○堀松英紀		
15:05~ 15:25					
15:25~ 15:45	一般口頭発表 座長:増澤将江 多世代間交流を通じた地域課題解決とウェルビーイング -「三世代食堂」の事例- ○木戸 直美	モンゴル・バイオトイレ実証実験による行動的QOL向上のための実践と課題 ○吉澤 智也	部活動指導者の養成・普及のための育成講座～中学・高校の部活動発展とウェルビーイング向上のために～ ○千葉 智久		
休憩5分					
15:50~ 15:55	閉会の辞 鈴木 隆広				
16:00	後片付け				